

胃がんの主犯はピロリ菌？！

ピロリ菌と胃がんの深い関係

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)



以前は井戸水がピロリ菌感染の原因といわれていました。最近では、ピロリ菌に感染している親が、小さい子どもに食べ物を口移しすることで感染することが多いといわれています。

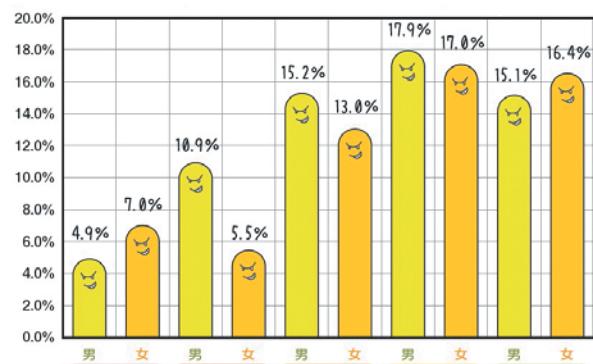
■親から子に「口から口」へ

ピロリ菌は、胃の粘膜にすみつき悪さをする菌です。最近では、胃潰瘍や胃炎、胸焼けなどの胃の不快感の原因になります。

実施しているピロリ菌検診。ピロリ菌は胃がんと関係が深く、胃がんの発症を予防するためにはピロリ菌の除菌治療が有効です。正しい知識を持ち、積極的にピロリ菌検診を受診しましょう。

■ピロリ菌ってどんな菌？

27年度ピロリ菌検診陽性率(年齢・性別)



■早いうちの除菌が効果的

胃がんの99%はピロリ菌の感染が根底にあり、ピロリ菌に感染している人は通常よりも胃がんになる確率が高いといわれています。27年度に市が実施したピロリ菌検診の結果によると、およそ8人に1人がピロリ菌「陽性」と診断されました。

ピロリ菌の除菌治療による胃がん予防効果は、若い人の方が大きいことが分かっています。将来の健康のためにもピロリ菌検診を受け、菌が感染していたら早めの除菌治療をお勧めします。



本年度も実施「ピロリ菌検診」

簡単な検査でピロリ菌の有無が分かります。無料で受けられるこの機会に、受診をお勧めします。

■対象

平成30年3月31日現在で20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の市民

■検診料 無料

「税についての作文」入賞者を紹介します

▷県南広域振興局県税部花巻県税センター所長賞
鎌田陽菜さん(笠間第一小5年)

■中学生の部

▷東北地区納稅貯蓄組合連合会会長賞
土佐春乃さん(花巻中3年)

▷花巻市長賞

八重樫さやかさん(西南中3年)
▷花巻税務署長賞
寺沢華音さん(西南中3年)

■問い合わせ 本庁収納課(☎24-2111内線241)

税についての作文は、税に対する理解の促進を目的に、花巻市納稅貯蓄組合連合会が市内小・中学生を対象に毎年募集しているものです。本年度は、小学生351人、中学生615人から応募がありました。

本年度の主な賞で入賞した皆さんは次のとおりです。その中から、小学生の部で花巻市長賞を受賞した浅沼菜々子さんの作文を紹介します。

■小学生の部

▷花巻市長賞

浅沼菜々子さん(太田小6年)

私の税金へのイメージは、払うのは大変。でもないと困るというものだった。苦労して払った税金は、何に使われているのか、どこへ行くのか、私は知らないかった。

私がとつて身近な税金は、消費税だ。100円ショップに行つたとき、品物は100円なのだが支払いは108円となる。また、遠足のお菓子を買いにびつたり300円の買い物をしたはずが、消費税がついてお金が足りなくなってしまったことがある。このような経験から、税は何にどのように使われているのか、もっと知りたくなった。家の人聞いてみた。おじいちゃんは、今は税金で教科書がもらえるけど、昔は自分たち買つていたんだよ。」と言つた。それは初めて知つたことだつた。私たちの学校生活は、税金で支えられていてることを実感したお母さんは、教えてくれた。「冬に、家から学校までの道を走つている除雪車も税金で動いているの。除雪車のおかげで通りやすくてうれしいよね。」私の住む太田はとても雪が多く降り、道を車で通る人が歩くのも大変だ。しかし、除雪車のおかげで冬も元気になに登校できる。税金がなくなると大雪で登校できなくなるかもしれない。自分の車で除雪するのはむりだろう。

暮らしを支える税金
太田小学校6年 浅沼菜々子

父さんは、「家の近くの橋も税金で直したんだ。それに家の前の道も税金で直してもらつたんだ。本当に助かるよな」と言った。家の前の道は、ところどころ浅い穴が空いている。そこを、車で通ると車が大きくゆれる。その道を直したのも税金だつたそうだ。道や橋を直すのも造るのも税金だなんてはじめで知つた。さらに聞くと、弟の医療費や予防接種は税金でまかなわれているらしい。私が小さいとき、ぜんそくで入院することがあった。そんなとき、医療費が少なくてすんだらしい。今は、小学校低学年の弟もぜんそくで入院することがある。一部の医療費が税金のおかげで少くなっているようだ。もし、税金が少なからず、入院していた私や弟も安心して治療を受けられなかつたかもしれない。家族の心配事も増したことだらう。先日受けた予防接種も無料だつた。税金は、私たちの健康を守る命を守ることにも使われているのだ。

税金について学んだ私は、あらためて税金のすごさに気づいた。税金が少しして治療を受けられなかつたから、心配事も増したことだらう。税金は、私たちの健康を守るためにも使われているのだ。私たちの学校生活、普段の暮らしを支えてくれているすべてのことを自分たちのお金から出すことになつたら、いくらくらいお金があつても足りない状態になるだろう。夢をあきらめてしまつたり、生活が苦しくなつてやりたいことができなくなつたりするかもしれない。私たちの学校生活、普段の暮らしを支えてくれている税金、また、私たちの命や健康を守つてくれている税金の大切さを忘れずに税金を払つていきたいと思ふ。う。



▲12月3日にまなび学園で「税についての作文・納稅表彰式」が開かれました(左:小学生の部、右:中学生の部)